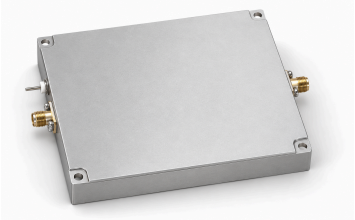
3.5–5.8 GHz IF入力、6–8.3 GHzアップコンバータ



LCMIXU-6000-8300は3.5–5.8 GHz IF入力を6–8.3 GHz RF出力へ変換します。資料は利得≥30 dB、IF漏洩抑圧≥40 dBc、RF出力0 dBm時のスプリアス≤–40 dBcを規定します。Psat ≤5 dBmは上限であり、最低出力能力の保証ではありません。

50 MHz基準源と11.8 GHz PLL源を内蔵します。SMA信号端子、公称+28 V電源、最大36 V、電流160 mA代表値を使用します。本体は100 × 80 × 15 mm、動作範囲は–40～+70 °Cです。取り付け位置は原図で確認してください。

電気仕様

項目	値	単位
RF出力周波数	6–8.3	GHz
IF入力周波数	3.5–5.8	GHz
アップ変換利得	≥30	dB
飽和出力電力（Psat） [1]	≤5	dBm
出力スプリアス [2]	≤–40	dBc
IF漏洩抑圧	≥40	dBc
電源電圧 [3]	+28	VDC
電源電流	160 (代表値)	mA
内部LO周波数	11.8	GHz
内部基準周波数	50	MHz

[1] 資料の上限であり、最小出力能力ではありません。

[2] RF 出力電力 0 dBm 時。

[3] 記載電源は +28 V、最大 36 V。 代表電圧とは推定しません。 最大: 36 VDC.

環境限界

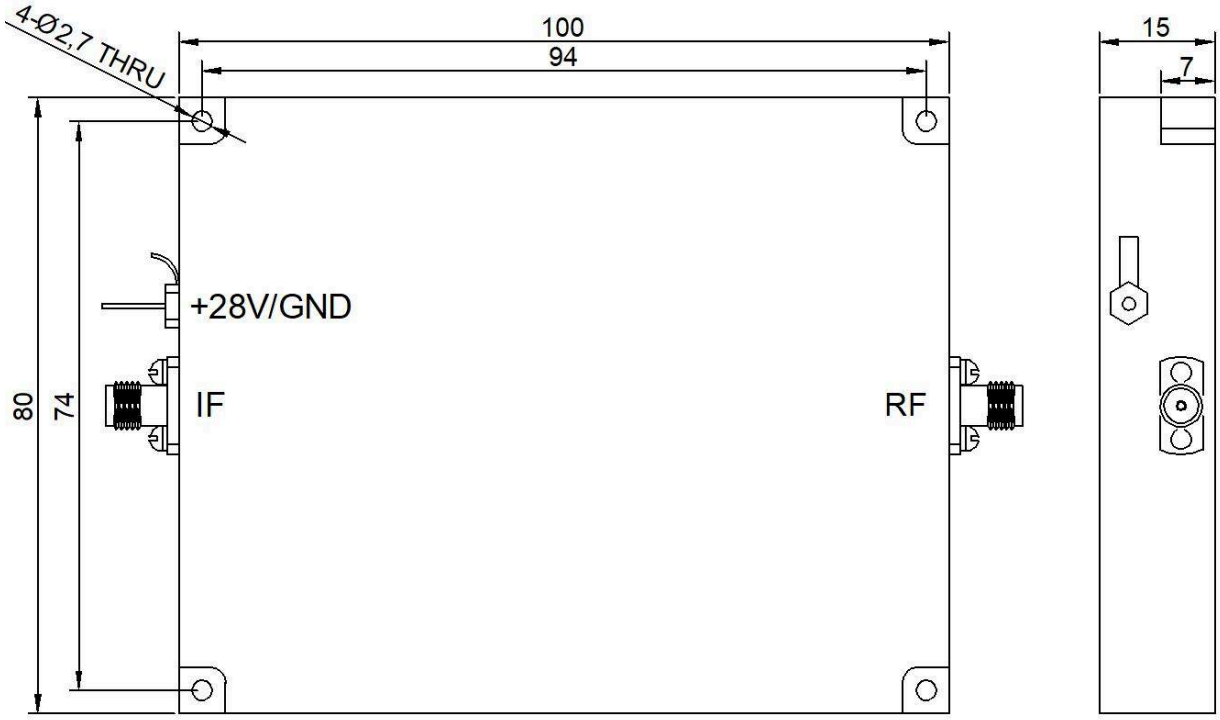
項目	値	単位
動作温度	–40–+70	°C
保存温度	–40–+85	°C

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
IF入力コネクタ	SMA
RF出力コネクタ	SMA
電源インターフェース	+28 V / GND (電源は貫通コンデンサ、接地は金属接地片を使用。)

機械仕様

項目	値	単位
本体寸法	100 × 80 × 15	mm
取り付け穴中心間距離	94 × 74	mm
取り付け穴	4 × Φ2.7 (貫通穴。)	mm



文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。